

第6学年 社会科（人権）学習指導案

1 主題 差別解消に向けて ～仲間とともに～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

差別に立ち向かった人々の思いに共感し、互いを認め、仲間とともに進んで行動する態度を育てる。

4 指導計画

【 】 普遍的な学習のテーマ
〔 〕 個人人権課題名

主題に関する人権学習

これまでの学習

○道徳科「かおりの決心」（ひかり）
〔子ども〕 2時間

○道徳科「宙に消えたありがとう」（ひかり）
〔障がい者〕 2時間

○道徳科「ハンセン病問題から学ぶ」（ひかり）
〔ハンセン病患者等〕 3時間

現在の学習

○社会科「汚染一揆」（ひかり）
【仲間づくり】〔同和問題〕
3時間（本時3／3）

これから学習

○社会科「解放令」（ひかり）
〔同和問題〕 2時間

○社会科「水平社宣言」（ひかり）
〔同和問題〕 2時間

主題に関わる教科等・行事

○児童会活動
「牟岐小スタンダードをふりかえる」
【共に生きる】 1時間

○総合的な学習の時間
「牟岐の未来を考える」
【共に生きる】 25時間

○総合的な学習の時間
「命をつなぐ死者0の町をめざして」
【共に生きる】 10時間

○国語科「いちばん大事なものは」
【仲間づくり】 7時間

○社会科「幕府の政治と人々の暮らし」
【仲間づくり】〔同和問題〕 7時間

○修学旅行
【仲間づくり】【自尊感情】

主題を支える常時活動

ほめ言葉シャワー

「今日の主人公」のよいところを見つけ、ほめ言葉を伝えることで、友達や自分を大切に心や自尊感情を育てる。

係活動

一人一人が学級の役割を持ち、協力して意欲的に取り組むことで、自尊感情を高める。また、自分自身のよいところを表現する場をつくる。

成長年表

行事や自分たちががんばったことなどを、教室に掲示することで、学級の団結力を高め、達成感を得たり、責任感を養ったりする。

最高学年としての児童の取組

- ・異年齢活動では、リーダーシップを発揮して他学年をまとめようと行動する。
- ・休み時間には、下学年の児童と遊び、様々な学年と関わりながら過ごす。
- ・人権意見発表会に小学校代表として参加し、中学生に自分たちの意見を伝える。

5 本時の学習

(1) 目標 差別に立ち向かった人々の思いに共感し、友達と助け合いながら、自ら進んで行動していこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり
 個人権課題名 同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ 前時の振り返りをする。
差別の中で生きた人々は、どのような思いや願いで一揆を起こしたのだろう。	
2 御触書を取り消すにはどうすればよいか考える。	○ 百姓と同じように年貢を納めていることをおさえる。 ○ 嘆願書を出しても認められず、一揆を起こしたことを伝える。 ○ 人々の葛藤について考えさせる。
3 一揆を起こした人々の思いや願いについて考え、発表する。	○ 一揆を起こした背景には、人間としての誇りや尊厳があったことをおさえる。 ①
4 本時の学習を振り返る。	○ 学習したことを振り返り、差別をなくすために、仲間とともに行動しようとする意欲を高める。 ○ 仲間とともに行動できなかった場面を振り返り、これからの生活では、どうしていきたいか考えさせる。 ②

(4) 評価

- ・ 一揆に立ち上がった人々の思いや願いを考え、理解することができたか。

【知識的側面】 ①

- ・ 友達と助け合いながら、自ら進んで行動しようとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】 ②